

GT-eSMART series
GT-eBox

取扱説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください

2018. 08. 07版



目次

はじめに	1
安全にご使用いただくために	2
GT-eSMARTシリーズとは	3
同梱品	4
各部名称	4
GT-eBoxの役割	5
GT-eSMARTシリーズの接続方法 ...	5
無線接続方法	7

はじめに

このたびは、GROWTACの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

「GT-eBox」は、スマートフォンやPCとANT+/Bluetooth通信を行い、GT-eSMARTシリーズ各ユニットを制御するためのコントロールユニットです。GT-eSMARTシリーズは、GT-Roller製品と合わせてご使用いただくことで、GT-Rollerをスマートトレーナーとしてご使用いただけます。

本製品を使用することによって、お客様のサイクルライフがより一層豊かになることを心より願っております。

安全に正しくご使用いただくため、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。

本取扱説明書の内容並びに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

最新の情報は弊社ホームページ（www.growtac.com）をご確認ください。

本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきまして一切その責任を負いかねます。

また、本製品より取得されたデータなどを利用した際に生じたお客様の損害、逸失利益につきましても一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

ANT+® は、米国またはその他の国におけるGarmin社の登録商標です。
Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。



安全にご使用いただくために



室内トレーナーは、誤ったご使用をされますと**火災**や**事故**、故障や誤作動などによる**けが**の原因となることがあります。

本取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

GT-eSMARTシリーズをお使いの際は、本取扱説明書を確認できる状態にしておいてください。

- a. 異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。
そのまま使用すると、誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- b. 本体やケーブルを踏むなどして破損した場合には、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。
そのまま使用すると、誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- c. 雷が鳴りだしたら、使用を中止し、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。
火災・感電の原因となります。
- d. 分解や改造をしない。
誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- e. 磁石が内蔵されている製品や部品を、心臓ペースメーカーなどに近づけない。
強力な磁石が心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- f. 無線通信機器(GT-eBox)を心臓ペースメーカーなどに近づけない。
電波により心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- g. 長期間使わないときは、電源ケーブルを抜く。
火災や故障の原因となります。
- h. 直射日光の当たる場所や、熱機器の近くなど高温になるところに置かない。
火災や故障、製品の変形の原因となります。
- i. 本体及びケーブルに水や汗等を付着させない。
防塵防滴ではないため、故障や誤作動の原因となります。
- j. 本マニュアルに従って作業を行わない場合には、故障や**けが**の原因となります。
- k. 安全な環境で使用しない場合には、製品の故障や**けが**の原因となります。
- l. 指定の機器やケーブルを使用しない場合には、誤作動や通信不良により、故障や**けが**の原因となります。
- m. 本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきまして一切その責任を負いかねます。

GT-eSMARTシリーズとは

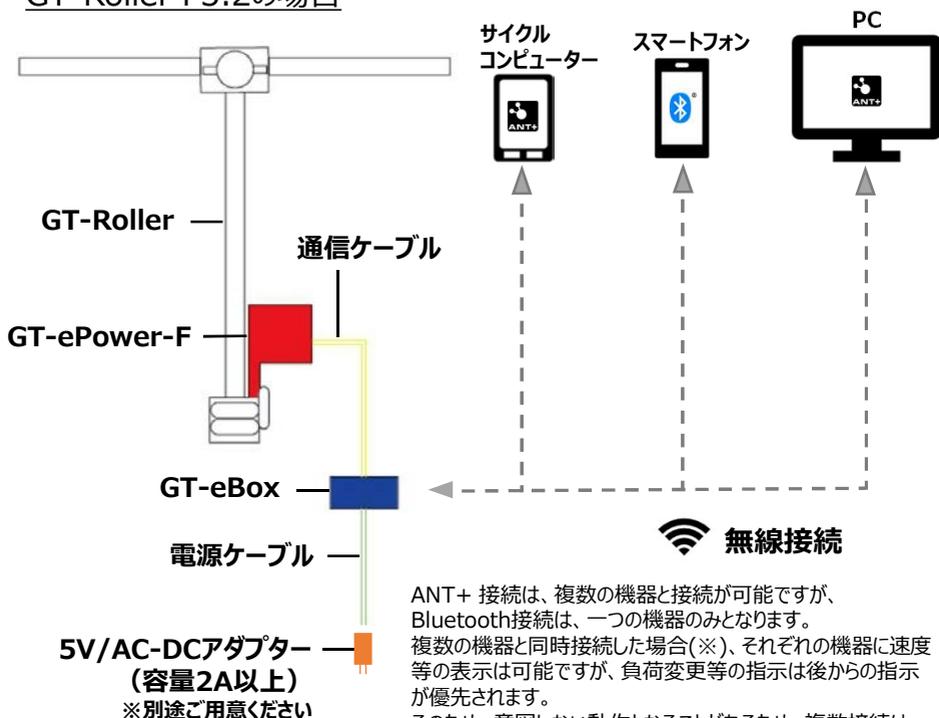
GT-eSMARTシリーズは、GT-Rollerをスマートトレーナーとして使用するためのオプション製品の総称です。

GT-eSMARTシリーズでできること

- PCやタブレットを使ったバーチャルライドでは、コースプロフィールやスピードに合わせて走行負荷が変化します。
- スマートフォン専用アプリケーション「GT-eRemote」や、サイクルコンピューターのトレーナー制御機能を使用することで、負荷装置のマニュアル操作や、作成したトレーニングプログラムに従って走行負荷を制御できます。
- 体重や速度、負荷レベルなどから算出する、想定パワー値「GT-Power」を表示し、その値をパワートレーニング等に活かすことができます。

※「GT-ePower」は計算値のため、お使いのパワーメーターのパワー値[w]と差が生じる場合があります。

GT-Roller F3.2の場合



ANT+ 接続は、複数の機器と接続が可能ですが、Bluetooth接続は、一つの機器のみとなります。
複数の機器と同時接続した場合(※)、それぞれの機器に速度等の表示は可能ですが、負荷変更等の指示は後からの指示が優先されます。
そのため、意図しない動作となることがあるため、複数接続は行わないでください。
※ANT+ 同士、またはANT+とBluetooth接続

同梱品

同梱品がそろっているかお確かめください。

※不足がある場合は、お手数ですが、info@growtac.comまでご連絡ください。

- ・ GT-eBox(本体) 1ヶ
- ・ 電源ケーブル 1本
- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 保証書

各部名称

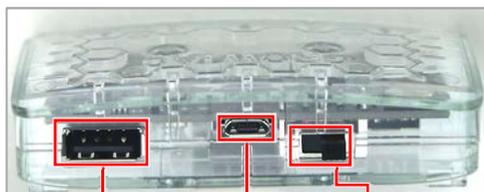


ステータスLED

① : ステータスLED **オレンジ**

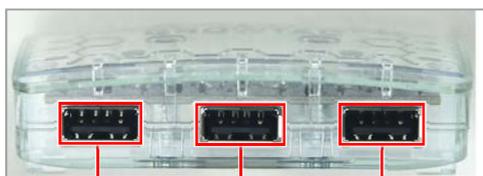
② : ステータスLED **ブルー**

③ : ステータスLED **グリーン**



GT-eSMARTシリーズ接続ポート

電源ポート 電源スイッチ : 右側にスライドさせると、電源が入ります



GT-eSMARTシリーズ接続ポート

GT-eBoxの役割

GT-eBoxは、GT-eSMARTシリーズの各ユニットと通信ケーブルで接続し、PC、スマートフォン、ANT+(FE-C)に対応しているサイクルコンピューターなどと無線接続することで、GT-eSMARTシリーズをコントロールする役割を持っています。

また、家庭用コンセントに接続したAC-DCアダプターからGT-eBoxを経由して、各GT-eSMART製品に電源供給を行います。

※GROWTAC独自の通信方式にて通信しております。弊社製品以外と接続しないでください。接続した際の故障等につきましては一切その責任を負いかねます。

GT-ePowerとの接続方法

GT-ePowerをお使いいただくためには、GT-eBoxと接続する必要があります。

想定パワー値「GT-Power」の精度を高めるためには、スマートフォン専用アプリ「GT-eRemote」から体重等の設定や校正などを行う必要があります。

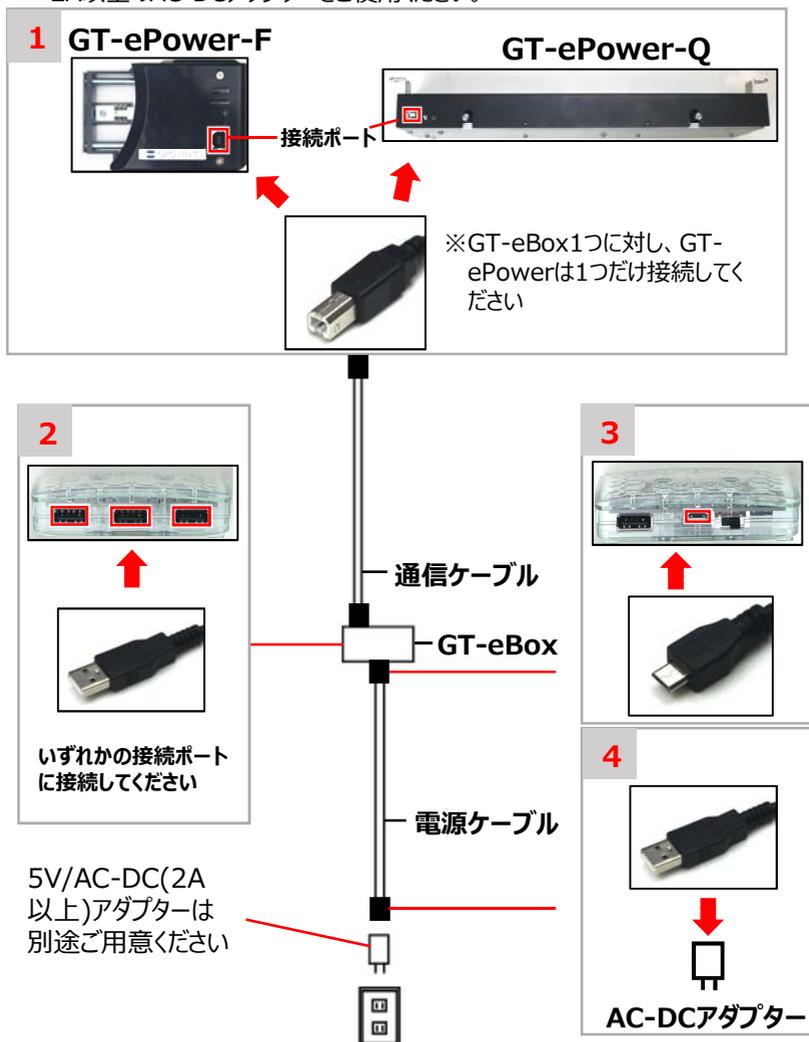
接続及びご利用に必要なもの

- **GT-ePower製品を取り付けたGT-Roller**
- **通信ケーブル (GT-ePower製品 同梱品)**
- **GT-eBox一式 (GT-eBox、電源ケーブル)**
- **5V/AC-DCアダプター (容量2A以上) ※別途ご注意ください**
- **AC電源**

接続手順

接続前に、GT-eBoxの電源が予めオフになっていることをご確認ください。

1. GT-ePower-F、またはGT-ePower-Qの接続ポートに通信ケーブルを接続する。
2. GT-eBoxのGT-eSMARTシリーズ接続ポートに通信ケーブルを接続する。
3. GT-eBoxの電源ケーブル差込口に、電源ケーブルを接続する。
4. 電源ケーブルを5VのAC-DCアダプターに差し込む。
※5VのAC-DCアダプターは別途ご用意ください。また、動作を安定させるため、2A以上のAC-DCアダプターをご使用ください。



無線接続方法

接続手順

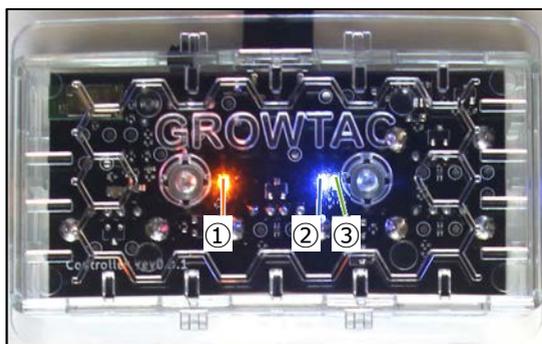
1. 電源スイッチを右側にスライドさせ、GT-eBoxの電源を入れる。
2. ステータスLED**オレンジ**が点灯します。
3. 接続したい機器を操作し、GT-eBoxとペアリングする。
※接続及び操作方法については、当該機器の説明書をご覧ください。
4. ペアリングが完了すると、接続した機器に対応したステータスLEDが点灯します。
※Bluetooth通信機器とANT+通信機器を同時に接続することもできますが、混線し、正常に動作しない可能性がありますので、行わないでください。

「GT-eRemote」から体重等の設定を行うことによって、GT-Powerの精度を高めることができます。

・動作環境条件

使用中の温度：0℃～+50℃（結露のないこと）

ステータスLEDの説明



- ①ステータスLED**オレンジ**…電源のオン/オフを表示
GT-eBoxの電源が入っている時は、常時点灯
- ②ステータスLED**ブルー**…Bluetoothとの接続状態を表示
Bluetooth通信機器と接続時は、常時点灯
- ③ステータスLED**グリーン**…ANT+との接続状態を表示
ANT+通信機器と接続時は、常時点灯

